

# 中原台の風

平成30年度第7号(通算287号)  
 一佐西学校だより  
 平成30年11月 1日発行  
 [発行責任者]  
 長崎県立佐世保西高等学校長 宅島 健司

## 先づ隗より始めよ

校長 宅島 健司

中国の戦国時代、遊説者の郭隗(かくかい)が燕(えん)の昭王に、天下の人材賢者の求め方を問われて、「昔、王から名馬を求めてこいと千金を託された側近(そっきん)が、遠方まで出かけて行って死馬の骨を、五百金を投じて買って帰った。王が怒ると、『死馬の骨ですら五百金で買う王なら、生きた馬はきっと高価で買ってくれるだろうと、今に天下の名馬が王のもとに集まってくるに違いない』と答え、その通りに王は千里の名馬を三頭も求めることができた。」というたとえ話を語り、「この逸話と同様に、賢者を招こうとするなら、まず私のようにあまり優秀でない者を優遇することから始めるのが良いでしょう。そうすれば、優れた賢人が王のもとに続々と集まってくるでしょう。」と説いた。(「戦国策」)

この故事から ① 遠大なことをするには、手近なことからはじめよ。

② 転じて、事を始めるには、まず自分自身が着手せよ。

という意味で使われるようになった。

さて、君たち生徒一人一人にはそれぞれ違った目標や希望があり、我々教師にもそれぞれに目標や願望があります。私にも願いがあり、「佐世保西高に行けば、行きたい大学に行けるげな。部活動でも活躍できるげな。」と多くの中学生にささやかれ、多くの中学生の保護者から「西高に通わせよう。」と思ってもらえるような学校にしたい。君たち現役の生徒から「厳しい面もあるけど、学校が楽しい。」と思ってもらえ、保護者から「学校を信頼している。西高に通わせてよかった。」と言われるような学校にしたい。そして、卒業するときに、「西高を選択してよかった。」と卒業生及びその保護者にそう思ってもらえる学校にしたいということです。

西高に在籍する人それぞれに目標や希望は違うと思います。それでも共通の願いがあるように思います。頭が良くなりたい。成績を伸ばしたい。部活動をしている人なら、その部活動で活躍したい。一勝でも多く勝ちたい。一つでもいから順位を上げたい。これらは共通ではないでしょうか。

君たちに問いたい。「成績を伸ばしたい。部活動で勝ちたい。」そういう意識をもって、その意識を意欲に変え、普段の学校生活を送っていますか。ただ授業を受けるだけ、ただ部活動をしているだけになっていませんか。「あの先生の授業面白なか。分かん。」「部活動強うならんとは指導の悪かっさ。」などと言ってませんか。他への文句ばかりを言ってませんか。言い訳ばかりしてませんか。自分の願いをかなえるためには、まず自分から動くことです。身近な当たり前のことを徹底して行うことです。そこからしか始まりません。そして、その経過や結果の原因を探り、考え、頑張る方向を模索し、工夫するしかありません。他に要求するばかりでなく、まず自分自身が置かれたその場所で、精一杯努力してください。「先づ隗より始めよ。」

君たちが自ら目標や希望に向かって懸命に努力し、明るく光り輝くことができれば、きっと結果もついてくるでしょう。それは「一隅を照らすこと」でもあると思います。西高生へ Be the light(その光になれ)

## センター試験100日前集会

10月11日(木)に53回生のセンター試験100日前集会および受験説明会を行いました。100日前集会では、宅島校長先生と3学年主任の中村先生からの激励の後、生徒を代表して2組の麻生君が受験に向けての決意を述べました。これまでにやってきた学習に手ごたえを感じながらも、あと100日さらに頑張る点数を伸ばしたいということ、ライバルでもあり仲間でもある53回生のみんなと最後まで志望校合格に向けて頑張りたいなどを力強く語ってくれました。

また、今年度は株式会社ベネッセコーポレーションから高橋正勝先生をお招きし「今、全力を出す時～自分の可能性を信じて受験勉強を極めよう!～」という演題で講演をしていただきました。受験勉強は苦しい部分もあるが、今頑張れば頑張るほど未来で活躍する土台ができるんだと激励を受けました。まだまだあと100日もあります。目標に向けて「佐西生ならまだまだできるはず」という先生の力強い言葉に、お礼の言葉を述べた1組の休坂君をはじめ、改めて気を引き締めて受験勉強に臨む決意をした生徒が多かったようです。

これから、受験までの日数が少なくなってくると、焦りが出てくる人もいます。しかし、大切なことは「今できることをしっかりと全力でやりきる」ということです。夢を実現するために、生徒諸君・教職員・保護者が一丸となって乗り越えられるよう頑張っていきましょう。今後どうぞよろしくお祈りします。(進路指導部)



## 秋季球技大会

### 【男子の部】

サッカー 優勝 1-4、準優勝 2-2  
 バレーボール 優勝 2-6、準優勝 2-4  
 卓球 優勝 2-6、準優勝 1-4

### 【女子の部】

キックベースボール 優勝 3-5、準優勝 2-3 A  
 バレーボール 優勝 1-5、準優勝 3-2  
 卓球 優勝 3-3、準優勝 3-4 A

爽やかな秋晴れの下でスタートした球技大会でしたが、2日目は生憎の雨となり、屋外競技は全て卓球に変更となりました。最後の球技大会で有終の美を飾りたかった3年生も多かったようですが、発散できなかったエネルギーを今度は受験へぶつけてください!下級生も2日間で生み出した勢いに乗り、後期の生活に繋げていきましょう。(生徒会)



## 《11月の行事予定》

3	(土)	3年進研マーク、1・2年進研記述、冬時間(11月1日~18:30完全下校)
4	(日)	3年進研マーク、2年進研記述、第2回英検二次
6	(火)	校内読書週間(~12日)
8	(木)	読書に関するLHR、ふるさと創生大作戦(1年 県立大学出前講座)
9	(金)	ふるさと創生大作戦(1年 大正大 浦崎先生 地方創生についての講座)
10	(土)	3年大学別模試、九州英語ディベート大会(本校会場)
11	(日)	コモンホール学習(3年)
14	(水)	マラソン大会事前健康診断(1年生)

15	(木)	ふるさと創生大作戦(1年 「RESASを学ぶ」)、歯科講話(6校時)
16	(金)	マラソン大会事前健康診断(2年生)、県総文祭開会式
17	(土)	3年プレテスト(~18)、高P連地区大会(コミュニティーセンター)
21	(水)	金曜授業、部室棟清掃
22	(木)	後期中間考査時間割発表、ふるさと創生大作戦(1年 「RESASを学ぶ」研修会 6・7校時)
23	(金)	コモンホール学習(3年 24・25日も)
29	(木)	後期中間考査(~12月4日)

## 薬物乱用防止教室

10月10日(水)、長崎県税関佐世保支署の谷川泰昭様をお招きして、薬物乱用防止教室を実施しました。ここ数年県内でも若者が薬物の所持で送致される事件が起こっており、重大な事件が身近でも十分に起こり得ることを考えさせられました。薬物は一度手を出せばやめることが非常に困難で一生を台無しにする行為であることから、いかにして薬物が国内へ入り込まないようにするかということ税関の立場から、海上での取り締まりや空港での警備、監視の様子などを細かく丁寧に説明していただきました。

最後に、高校生が薬物に出会わないために普段どのようなことに気をつけておかなければならないか実際に起きている現状を踏まえて、生活態度や登下校時の行動についてもご指導いただきました。この機会にご家庭でも一度薬物についてお話していただければと思います。(生徒指導部)

## 地域創生プロジェクト 54回生「ふるさと創生大作戦」完結

54回生は1年次の9月から「ふるさと創生大作戦」に取り組んできました。自分たちの住む町について様々な視点から問題点を見つけ出し、その中から各グループでテーマを設定し1年間、研究を進めてきました。研究の過程で、いろいろな意見をぶつけ合いながら正解を模索しようとする場面を何度も目の当たりにし、54回生の熱心な活動に感動させられました。

先日、代表6チームが

「俵ヶ浦半島ブルーツーリズム大作戦」

「させBow de まなBow」「アーケードで楽しもう」

「遊んで!学んで!ほっこり!生月農業カレッジ」

「Fun Fun Fun~佐世保で遊ぶ・佐世保で楽しむ~」

「佐世保の自然を満喫!フィッシングツアー」



の6つのテーマを佐世保市役所において、佐世保市長をはじめ副市長、各局部長、県議会議員の皆様の前でプレゼンテーションをする機会をいただき、意見交換することができました。代表6チームの生徒の皆さんにとっては貴重な体験となったと思います。

今回の「ふるさと創生大作戦」が54回生全員の今後の高校生活、進路実現に役立つことを期待します。(2学年)

## U-18日本陸上競技選手権大会出場!!

10月21日(日)に愛知県パロマ瑞穂スポーツパークにおいてU-18日本陸上競技選手権大会に2年小鳥居勇太(大瀬戸中)さんが出場しました。この大会は2m01の全国標準を突破した選手のみが参加できる全国3大タイトルのうちの1つの試合です。結果は11位と入賞まであと一步届きませんでしたが、全国入賞者の背中が見える位置までできたことで、来年のIHで勝つという想いが一層強くなりました。今後もトレーニングに励み佐世保西の名を全国に轟かせます。応援有り難うございました。(陸上部顧問)

(小鳥居君より一言)

中学校以来の全国で、全国のレベルや緊張感、空気感の違いも感じる事ができた。

来年のインターハイを見据えることができた。



## 国体ソフトボール競技(少年男子)に2名出場!!

9月30日(日)から10月2日(火)にかけて福井県福井市でソフトボール競技(少年男子)が開催されました。本校からは3年日高慶明(早岐中)さんと3年田島郁也(佐々中)さんが出場しました。初日の9月30日は台風接近により試合中止となり、翌日の10月1日から競技が行われました。1回戦の相手は新潟県で、終盤に2ランホームランが出て、2-0で勝利しました。2回戦は千葉県との対戦でした。初回に1点を先制するものの、中盤に同点にされ延長戦(タイブレーク戦)までもつれました。先攻の千葉県が1点をあげ、後攻の長崎県は1アウト満塁まで攻め込みましたがあと一步のところまで得点できず、1-2で敗退しました。次年度こそ国体優勝を果たすべく、より一層練習に励みたいと思います。応援ありがとうございました。(ソフトボール部顧問)



(日高君より一言)長崎県代表として精一杯やれた。この経験を次につなげたい。

(田島君より一言)納得いく結果ではなかったが、全力で頑張る事ができた!!

## 主な試合などの結果

<ハンドボール部>

●平成30年度佐世保地区高校新人体育大会ハンドボール競技大会 **男子・女子共に優勝!**

<陸上部>

●平成30年度全九州高校体育大会第34回全九州高等学校新人陸上競技大会

○男子走高跳 第3位 小鳥居 勇太

○4×400mR 第7位 笹浦哲史、橋口悠祐、浦歩望、小鳥居勇太

○男子400mH B決勝 第6位 橋口悠祐 ○女子走高跳 第10位 稲田沙紀

●U-18日本陸上競技選手権大会 男子走高跳 第11位/27人中 小鳥居 勇太

<バドミントン部>

●平成30年度長崎県北地区高校新人体育大会第53回バドミントン競技大会

団体:男子・女子共に第3位 個人:女子 真弓美優・巻澤羽留ペア ベスト8(県大会出場)

<ソフトテニス部>

●平成30年度長崎県高校新人体育大会兼第44回全日本高等学校選抜大会ソフトテニス長崎県予選会

団体:ベスト16(団体選抜大会出場)

個人:吉福侑加・永木美翔ペア ベスト16、久家亜海・初田花楓ペア ベスト32(個人選抜大会出場)

<放送部>

●平成30年度長崎県高校総文祭【放送専門部】第40回九州放送コンテスト県北地区大会

アナウンス部門:優秀賞 松山未来(県大会出場)

<美術部>

●平成30年全国地域安全運動における防犯ポスターコンクール 優秀賞 諫山みのり

●平成30年度第27回長崎県高等学校総合文化祭【美術専門部】

優秀賞(2席) 田浦果林 優良賞 吉村遥香、諫山みのり、今里美月、本山里香子

